



試験実施後

1 正解・平均点等の発表

(1) 正解等の発表

大学入学共通テストの本試験，追試験・再試験の正解及び配点については，各日の全試験終了後に，その日行われた科目分を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で発表します。

(2) 平均点等の発表

大学入学共通テストの平均点等については，中間発表を令和4年1月19日（水）（予定）に，最終発表を2月7日（月）（予定）に，いずれも大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で行います。

2 得点の調整

(1) 得点調整について

大学入学共通テストの本試験において，次の各科目間で，原則として，20点以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には，得点調整を行います。

ただし，受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象としません。

- ① 地理歴史の「世界史B」「日本史B」「地理B」の間
- ② 公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の間
- ③ 理科②の「物理」「化学」「生物」「地学」の間

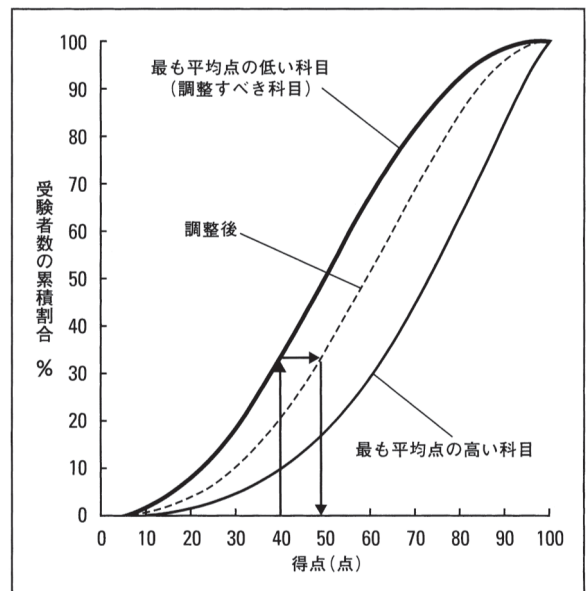
(2) 得点調整実施の有無の発表

得点調整の実施の有無は，令和4年1月21日（金）（予定）に発表します。得点調整を行う場合は，対象となる科目の得点の換算表を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で発表します。

(3) 得点調整の方法

- ① 得点調整は，(1)の①～③のグループごとに，「分位点差縮小法」*という方式を用いて行います。
- ② 得点調整に当たっては，対象となる受験者と対象とならない受験者間での公平性の観点から，平均点差の全てを調整するのではなく，調整後も平均点差が15点（通常起こり得る平均点の変動範囲）となるようにします。

得点の累積分布図



* 「分位点差縮小法」とは、得点調整の対象となる科目のうち、最も平均点の高い科目と最も平均点の低い科目の得点の累積分布を比較し、図の縦軸の受験者数の累積割合(%)が等しい点(等分位点)の差(分位点差)を、一定の比率で縮小する方式です。

また、平均点が最大及び最小以外の科目についても、素点の平均点差が同一の比率で縮小されるよう調整します。縮小の比率は、15点÷(最も平均点の高い科目の平均点-最も平均点の低い科目の平均点)とします。

この方式により、最も平均点の低い科目の得点の累積分布は、図中の点線で描かれた分布に移動することとなります。この点線の分布が調整後の得点の累積分布となり、横軸上の素点から矢印に沿って進み、再び横軸上に戻った点が調整後の得点となります。

3 段階表示

(1) 段階表示について

段階表示は、各大学の入学者受入れ方針に応じた、受験者の多様な評価(方法)に活用できるよう、従来の科目別得点に加えて、全体における各受験者の位置づけを示すものです。

なお、試験成績としては「科目別得点」における1から9の9段階として表示します。

また、理科①については、「合計点」においても1から9の9段階として表示します。

(2) 換算表の発表

科目別得点等における段階表示の換算表については、令和4年1月21日(金)(予定)に、大学入試センターのホームページ(→裏表紙)で発表します。

(3) 段階表示の方法

① 「科目別得点」を、「スタナイン(Stanine)」*という方式を用いて、9段階に換算します。

② 段階表示は、「科目別得点」及び「理科①」の合計点に対して行います。

ただし、「英語」についてはリーディング、リスニング別に段階表示を行います。

③ 「国語」の出題分野別の得点については、段階表示は行いません。

④ 「地理歴史、公民」で2科目を受験した者又は「理科②」で2科目を受験した者については、第1解答科目、第2解答科目の合計点の段階表示は行いません。

(4) 各大学での活用方法について

各大学においては、入学者選抜を行うに当たって、段階表示を利用して入学者選抜を行うことも可能になりますが、利用の有無や、利用される場合の具体的な方法については、各大学の募集要項等を確認してください。

* 「スタナイン(Stanine)」とは、分位点による区分法の一つであり、受験者を得点順におおよそ4, 7, 12, 17, 20, 17, 12, 7, 4%の群に分割し、科目別得点を得点の低い方から順に1から9の9段階に換算する方式です。

4 試験成績の大学への提供方法

- (1) 大学入試センターは、大学入学共通テストを利用する各大学からの請求に基づき、当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績（「科目別得点」及び「段階表示」）を、請求した各大学に対して提供します。各大学の教科・科目の指定については、大学入学共通テスト出願前までに、各大学の募集要項等で確認してください。
- (2) 「国語」の特定分野を利用する大学へは、「国語」の得点及び段階表示とは別に出题分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の得点も提供します。
- (3) 「地理歴史、公民」で2科目を受験した場合又は「理科②」で2科目を受験した場合は、大学からの請求に基づき「第1解答科目、第2解答科目別の得点、その合計点及び第1解答科目、第2解答科目別の段階表示」又は「第1解答科目の得点及び段階表示」のいずれかを提供します。
 なお、大学が1科目のみの得点を利用する場合には、**第1解答科目の得点及び段階表示を優先して利用**することがありますので、必ず、志望大学の募集要項等で確認してください。
- (4) 「理科①」の成績については、選択した科目別の得点及び段階表示を提供します。併せて、合計点及び合計点の段階表示も提供します。
- (5) 「英語」の成績については、リーディング、リスニング別の得点及び段階表示を提供します。
- (6) 大学入学共通テストを利用する各大学の教科・科目の指定と、指定された教科・科目数を超えて受験した場合の大学への成績提供を例示すると、下表のとおりです。

入学志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績提供
国語、外国語の2教科から1教科選択	当該大学の入学志願者が国語、外国語を受験した場合、この2教科の得点及び段階表示
「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目から1科目選択	当該大学の入学志願者が「理科②」で2科目を受験した場合、第1解答科目として「物理」を、第2解答科目として「化学」を解答していれば、大学からの請求に基づき、この2科目の得点、合計点及びこの2科目の段階表示又は第1解答科目の「物理」の得点及び段階表示のいずれか